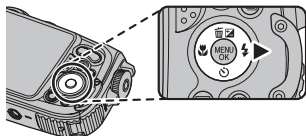


## ⚡ フラッシュ撮影 (iフラッシュ)

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

▶ (⚡ フラッシュ) ボタンを押します。



フラッシュ	(※)	説明
AUTO		<b>オートフラッシュ (表示なし)</b> ：ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
⚡		<b>強制発光</b> ：逆光で被写体が暗くなっているときに使います。周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
S⚡		<b>スローシンクロ</b> ：夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。
③		<b>発光禁止</b> ：フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。




※ 顔キレイナビと赤目補正が ON のときに顔を検出した場合は、赤目現象を軽減します。

### 赤目現象

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象のこと。

### ●● i フラッシュとは

このカメラは、被写体の位置とカメラとの距離、明るさなどを瞬時に計算して、最適な発光量と感度を自動的に調整する「i フラッシュ」を搭載しています。薄暗い室内などでも人物の白とびや背景の黒つぶれを防ぎ、目で見たままに美しく撮影できます。

- ◆ フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに  が表示されます（フラッシュ充電中は、黄色く点滅します）。
- ◆ シャッタースピードが遅く、手ぶれしやすい状態では、液晶モニターに  が表示されます。フラッシュ設定を  以外にするか、三脚をご使用ください。
- ◆ フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。
- ◆ フラッシュが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。